

関学ネットワークサービス(関学ネット)利用規約

(目的)

第1条 関学ネットワークサービス(以下「本サービス」という。)は、株式会社ケージークレセント(以下「運営者」という。)が運営し、関西学院同窓会員がインターネットを通じたネットワークを構築し、関西学院大学と同窓生会員との双方向の情報発信及び同窓会員相互間の交流を促進・支援することを目的とする。

(利用資格)

第2条 本サービスは以下のいずれかに該当する者が利用できる。但し、新規の申込みは関西学院に係る団体(同窓会支部、クラブ、その他OB会など)の代表者を原則とする。

関西学院同窓会員

関西学院大学の専任教職員及び退職教職員

その他運営者が利用を認めた者

(利用申請)

第3条 本サービスを利用しようとする者は、運営者(kgcre@kwangaku.net)又は関学ネットワークサービスサポートセンター(info@kwangaku.net)に申請し、メールアドレス及びパスワードの交付を受けなければならない。

2.利用者は連絡先など利用申請時の内容に変更が発生した場合、速やかに運営者又は関学ネットワークサービスサポートセンターに変更内容を連絡しなければならない。

(規約の遵守)

第4条 利用者は、本サービスの利用にあたってこの利用規約を遵守する義務を負う。

(メールアドレス)

第5条 メールアドレスは、本ネットワークを利用する際に利用者を特定するものであり、特定のアカウントによって行われた行為は、当該メールアドレスの交付を受けた利用者が責任を負う。

2.利用者は、メールアドレスを第三者に使用させること、売買、譲渡、貸与等することはできない。

3.利用者は、複数のメールアドレスの交付を受けることはできない。

4.交付されたメールアドレスが不要になった時は、直ちに運営者に返却しなければならない。

(パスワード)

第6条 利用者は、パスワードの管理に責任を負う。

2.本サービスでは、メールアドレスとパスワードの一致をもって利用者と認識する。

3.利用者は、自己のメールアドレスとパスワードを利用して行われた一切の行為及びその結果について、当該行為を自己が行ったか否かを問わず、その責任を負う。

4.運営者は、それらが第三者によって悪用された場合に生じる不利益、損害については一切責任を負わない。

(利用料金)

第7条 本ネットワークへの登録及び利用は原則として無料とする。ただし、将来有料サービスが開始された場合は、この限りでない。また、利用者が契約しているプロバイダの利用料や通信料金等は、利用者の負担とする。

(システムの中断、中止及び停止)

第8条 運営者は、以下のいずれかの項目に該当する場合、利用者に承諾を受けることなく本サービスの一部又は全部を中断、中止又は停止することができる。

天変地異等により本サービスの提供が困難な場合

保守や更新を定期的又は緊急に行う場合

インターネットを通じた不正なアクセスによりサービスの提供が困難な場合

その他、運営者が本サービスの提供が困難であると判断した場合

2. 運営者は前項の本サービスの中断、中止又は停止について、本サービスウェブサイト、メール等を使い事前にユーザに通知する。ただし、緊急の場合はこの限りでない。
3. 第1項に従い本サービスの中断を行ったことに伴う一切の損害について、運営者はその責任を負わない。

(禁止事項)

第9条 利用者は、本サービスの利用にあたり、次の行為を行なわないものとし、利用者がこれらの行為を行なった場合には、当該利用者の利用を禁止することがある。

自分のメールアドレス及びパスワードを第三者に使用させること。

他の利用者のメールアドレス及びパスワードを不正に使用すること。

本サービスの不正な利用又はそれを助けること。

関西学院大学又は他人を誹謗中傷したり名誉を毀損すること。

他人の財産、プライバシー、その他の権利を侵害すること。

本サービスを営利目的、宗教活動又は政治活動等のために不当に利用すること。

本サービスを用いて虚偽又は架空の身分を詐称すること。

他の利用者又は第三者に迷惑・不利益を与えること。

有害なコンピュータプログラム等を送信又は書き込むこと。

マルチ商法、ネズミ講及びネットワークビジネスの勧誘

犯罪行為及びそれに結びつく行為並びに公序良俗に違反すること。

その他、法令に違反すること又はその恐れのあること。

本サービスの運営に支障をきたす恐れのあること。

(規約の変更)

第10条 運営者は、この規約の内容を、何らの予告無しに変更することがある。

(個人情報保護)

第11条 運営者は本サービスにおいて取得した利用者のいかなる個人情報についても本人の同意なしに第三者に提供又は利用させることはない。

2.前項に関わらず、法令に基づき裁判所その他の司法機関及び行政機関から利用者に関する情報の開示を要求された場合、運営者は運営者が有する利用者情報の全部又は一部を、当該司法機関及び行政機関に対して開示できるものとする。

(免責事項)

第12条 以下の事項について、運営者は一切責任を負わない。

運営者は本サービスにおいて取得された利用者の個人情報の保護については万全を尽くすが、万一、ハッカー等第三者の行為により当該情報が流出した場合には一切責任を負わない。

本サービスの利用によって、利用者同士又は利用者と第三者との間で生じた紛争に運営者は一切責任を負わない。

運営者は本サービスによって得る情報の正確性、完全性及び有用性を保証するものではない。

システムの保守・点検、天変地異、停電、破壊行為、その他予期せぬ事故・障害、第8条による本ネットワークの中断、中止又は停止、第10条に規定する各号の行為等により、利用者に不利益となるような事態が発生した場合、運営者はそれによって生じる利用者のいかなる損害に対してもその責を負わない。

(損害賠償)

第13条 利用者が不正なデータの利用その他で運営者又は他者に損害を与えた場合、運営者は当該利用者に対して損害賠償等を求めることがある。

(規約の承認)

第14条 利用者が本サービスを利用したときは、この規約の内容を承諾したものとみなし、この規約が変更されたときも、同様とする。

附則

この規約は、2008年3月1日から施行する。